

# 第5学年2組 学級活動指導案

日時 平成28年11月8日(火)  
場所 教室

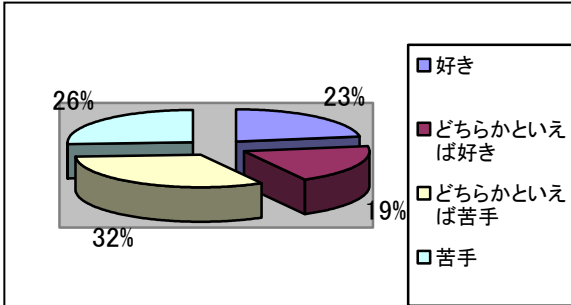
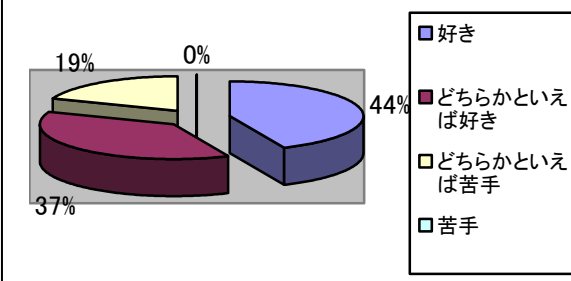
## 1 議題 「クラスのオリンピックをしよう」

### 2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、明るく活動的な児童が多い反面、自分の考えや思いを伝えたり、人前で自分の意見を発表したりすることに、苦手意識をもつ児童もみられる。また、些細なことが原因で言い合いになり、相手の意見よりも自分の意見を優先してしまいトラブルになることもある。休み時間になると男子はバスケットボールやドッジボール、おにごっこなど外で活動することが多く、女子は特定のグループで行動していることが多くなってきている。このような状況の中、1学期は、毎週水曜日のロング昼休みで、イベント係を中心にクラス全員で遊び男女問わずに仲良く交流する姿が見られた。また、帰りの会での「今日のありがとう」コーナーでは「〇〇を貸してくれた」などの自分中心の発言が多くみられたが、「〇〇さんが進んで～をしていました」という相手を意識した発言が少しずつ増えてきた。また、席替えをする度に、「班新聞」を作り、男女問わずに協力する小集団を育ててきた。

学級活動(1)については、4月に“学級会オリエンテーション”を行い、学級会の進め方や発表の仕方、話合いの約束などについて共通理解を図った。その後、「Aくんの退院を祝う会」「5年2組のクラスの旗を作ろう」「クラスのギネス大会をしよう」「クラスの運動会をしよう」などの議題で話し合い、実践を積み重ねてきた。これらの活動を通して、話合いの経験の乏しかった本学級の児童も、「みんなで話し合い、みんなで決めて、協力し、振り返り、また新しいことに挑戦する」楽しさを味わい、学級会の進め方について少しずつ理解を深める児童が増えてきた。しかしながら、学級会の際に、相手の発表を待てずに発言してしまう児童や、自分の意見に固執して折り合いを付けることができない児童、準備を人任せにしてしまう児童も少なからず見られる。

10月に「学級会アンケート」を実施したところ、以下のような結果になった。

<p>&lt;学級会アンケート&gt; 問：学級会は好きですか。(4月)</p>  <table border="1"> <tr><td>好き</td><td>26%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば好き</td><td>23%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば苦手</td><td>32%</td></tr> <tr><td>苦手</td><td>19%</td></tr> </table>	好き	26%	どちらかといえば好き	23%	どちらかといえば苦手	32%	苦手	19%	<p>&lt;好き&gt; (23%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言するのが楽しいから</li> <li>・みんなで遊ぶのが面白いから</li> </ul> <p>&lt;どちらかといえば好き&gt; (19%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の案が通ったから</li> <li>・楽しいから</li> </ul> <p>&lt;どちらかといえば苦手&gt; (32%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多数決が多かったから</li> <li>・案がうかばないから</li> </ul> <p>&lt;苦手&gt; (26%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れがわからなかったから</li> <li>・発表するのが苦手だから</li> </ul>
好き	26%								
どちらかといえば好き	23%								
どちらかといえば苦手	32%								
苦手	19%								
<p>問：学級会は好きですか。(10月)</p>  <table border="1"> <tr><td>好き</td><td>19%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば好き</td><td>0%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば苦手</td><td>37%</td></tr> <tr><td>苦手</td><td>44%</td></tr> </table>	好き	19%	どちらかといえば好き	0%	どちらかといえば苦手	37%	苦手	44%	<p>&lt;好き&gt; (44%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に向かってみんなで一生懸命考えたから</li> <li>・みんなで決めてみんなで活動して絆が深まったから</li> </ul> <p>&lt;どちらかといえば好き&gt; (37%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見で賛成・反対と盛り上がったから</li> </ul> <p>&lt;どちらかといえば苦手&gt; (19%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れが少し分かってきたから</li> <li>・発表するとき緊張するから</li> </ul>
好き	19%								
どちらかといえば好き	0%								
どちらかといえば苦手	37%								
苦手	44%								

学級会が好き（どちらかといえば好きを含む）な児童は約8割である。苦手（どちらかといえば苦手を含む）児童は約2割おり、「発表するのが緊張する」「いい案が浮かばない」などの理由が挙げられた。これらの理由を考察すると、発達の段階なども少なからず影響しており、「恥ずかしい」という気持ちが優先されてしまうことが伺える。また、これまでの学級会の経験の少なさから、自分達で考えて、自分達で行動し、自分達で振り返る方法が定着していないことが原因と言える。このような実態を踏まえ、自分だけの考えや視野にとどまらず、相手の考えも尊重していく態度を育てることを意識してきた。また、いくつかの案が対立した際の折り合いの付け方についても指導してきた。さらに、手が挙げられず発言できなかった時は、友達の意見にうなずいたり、準備の際に協力して活動したりすることが大切であることも指導してきた。

本議題は、「リオオリンピックの感動をクラスでも味わいたい」「今までの活動を生かして、さらに友達やクラスの絆を深めたい」という児童の思いから提案されたものである。その後、計画委員会で議題を選定し、学級全員に諮り決定された。「どんなことをやるか」「どのように盛り上げるか」「どんな役割が必要か」という三つの柱について、お互いの意見を尊重しながら、よりよい案を見つけていくことで、クラスへの所属意識を高めるとともに、自分達の力でよりよい学級をつくっていかうとする自治的能力を育てていきたい。

### 3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級の生活をつくるための話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

### 4 事前の活動

月日（曜日）	活動の場	活動の主体	児童の活動	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿（観点）【評価方法】
10月31日（月）	業間休み	計画委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題ポストを開けて、議題案を整理する。</li> <li>・選定する。（提案された議題）</li> <li>①「2学期誕生日会がしたい」</li> <li>②「クラスのオリンピックがしたい」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員会は輪番制とし、多くの役割を経験できるようにする。</li> <li>・各提案の扱いを明確にし、提案者に伝えられるようにする。</li> </ul>
	帰りの会	学級全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題を決定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員の提案のもと、学級全体の総意で決定できるようにする。</li> <li>◎学級生活をよりよくするために進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている</li> <li>（関心・意欲・態度）【観察】</li> </ul>
11月1日（火）	昼休み	計画委員 提案者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画を作成する。</li> <li>・学級会の進行の仕方を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎計画委員の役割、会の進行・仕方を理解している。</li> <li>（知識・理解）【観察】</li> <li>・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を教師が設定する。</li> <li>・提案者の願いや思いを学級全体の共同の問題になるように、練り上げシートを活用して練り上げる。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由を確認し練り上げる。</li> <li>・話合いの柱を決定する。</li> <li>・決まっていることを確認する。</li> <li>・学級会ボードに記入して掲示する。</li> <li>・学級会ノートの準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の計画委員の活動の流れを確認し、児童が主体となって進行できるようにする。(①提案理由の練り上げ、②役割分担、③めあての確認、④話し合うことの設定、⑤学級会ボードの作成、⑥会議ノートの準備など)</li> </ul>
11月2日(水)	帰りの会	学級全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会ノートに自分の考えを記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まっていることが共通理解できるように必要に応じて助言する。</li> <li>◎オリンピックの目的に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。</li> <li>(思考・判断・実践) 【学級会ノート】</li> </ul>
11月4日(金)	業間休み	計画委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会ノートに書かれた意見を整理し、短冊に記入する。</li> <li>・話合いの仕方を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出された意見から、話合いの見通しがもてるように助言する。</li> </ul>
11月4日(金)	昼休み	計画委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短冊を掲示する。</li> <li>・話合いの仕方を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いの前に、意見を書いた短冊を掲示することで、話合いの流れをイメージしたり、見通しをもたたりすることができるようにする。</li> </ul>
11月7日(月)	帰りの会	学級全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会ノートを受け取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会で何のために話し合うのか説明し、意欲を高める。</li> <li>※コメント記入はなし</li> </ul>

## 5 本時の展開

### (1) ねらい

話合い活動を通して、めあてや提案理由を意識し、よりよい解決に向けて協力して「クラスのオリンピック」の計画を立てることができる。

### (2) 児童の活動計画

第12回 学級会 活動計画	
議 題	「クラスのオリンピックをしよう」
役割分担	司会 ( ) ( ) 黒板記録 ( ) ( ) ノート記録 ( )
提案理由	今まで5年2組では、いろいろな活動や集会を通して、友達やチーム、クラスの絆を深めてきました。でも、クラスの中であまり話せていなかったり、仲良くできていなかったりする人もいます。そこで、今年開催されたリオオリンピックのように、感動をみんなで味わうことができれば、クラスの絆がさらに深まり、みんながもっと仲良くなると思い提案しました。
話合いのめあて	クラスの絆がもっと深まる工夫を考えよう。
決まっていること	○やる日…18日(金)5時間目 ○場所…校庭 ○やること…競技数は3つ(1つは決定済み)

話し合いの順序	気を付けること	資料・時間
1 始めの言葉 2 計画委員の紹介 3 学級目標 4 議題の確認 5 提案理由の説明 6 めあての確認 7 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな声ではっきりと言う。</li> <li>自分の役割と名前をはっきり紹介する。</li> <li>学級会に臨む気持ちが高まるようにする。</li> <li>大きい声ではっきりと言う。</li> <li>みんなに分かるように丁寧に読んで説明する。</li> <li>みんなで大きな声で読んで確認する。</li> <li>時間、場所、競技数、気を付けること等について再確認する。</li> </ul>	学級会ノート  掲示資料
8 先生の話 9 話し合い ①「どんな競技をするか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>すでに出されているものを読み上げる。ルールも確認する。</li> <li>提案理由を考えて話し合うようにする。</li> <li>時間を守るようにする。</li> </ul>	短冊
②「オリンピックを盛り上げる工夫をどうするか」  ③「どんな役割が必要か」	<ul style="list-style-type: none"> <li>当日にやるものと当日までにやるものを分けて掲示して、話し合う時も意見を整理しながら比べ合っていく。</li> <li>話し合いの初めに、すでに必要だと分かるものは決定していいか確認する。</li> <li>②で出た案がそのまま役割になることがあるので、短冊を動かして時間短縮をする。</li> </ul>	記録用紙
10 決まったことの発表 11 話し合いの振り返り 12 先生の話 13 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まったことをはっきりと丁寧に発表する。</li> <li>自分と友達のがんばったところを見つける。</li> <li>大きな声ではっきりと言う。</li> </ul>	

### (3) 教師の指導計画

話し合いの順序	・指導上の留意点 ◎目指すべき児童の姿
1 始めの言葉 2 計画委員の紹介 3 学級目標 4 議題の確認 5 提案理由の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>明るい雰囲気話し合えるよう、笑顔で見守る。</li> <li>その子なりのめあてが言えるように、事前に指導する。</li> </ul>
6 めあての確認 7 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案者の思いや願いを深め、学級全員の問題であることが分かるようにする。掲示資料等を活用することで全員が理解し、話し合いの指針になるようにキーワードとなる部分に印をつけておく。</li> <li>提案理由をまとめたものであるため、全員で読むよう事前に指導しておく。</li> <li>日時や場所などについてはあらかじめ教師が決めておく。</li> </ul>
8 先生の話 9 話し合い ①「どんな競技をするか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案理由を意識した話し合いができるように助言する。</li> <li>話し合うこと①は「比べ合う」段階から進められるよう、事前に短冊を準備するよう助言し、出されている意見が共通理解されるようにする。</li> <li>司会が進行に困ったときは、方向性を示唆する。児童の集団決定を方向付けるような助言はしない。</li> </ul>
②「オリンピックを盛り上げる工夫をどうするか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治的活動の範囲を超えそうな場合は、必要に応じて助言する。</li> </ul>

<p>③「どんな役割が必要か」</p> <p>10 決まったことの発表</p> <p>11 話合いの振り返り</p> <p>12 先生の話</p> <p>13 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表者が偏らないように司会に助言するとともに、より多くの児童が発表し、話合いに参加できるよう必要に応じて助言する。</li> <li>・自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えたり、少数意見のいいところを合体したり、折り合いを付けることも必要であることについて助言する。</li> <li>・集団決定の際に安易に多数決にならないよう、全体に何うことを事前に指導しておく。</li> </ul> <p>◎友達の意見を参考にしながら、新たな意見や折衷案を考えて発言したり、相手を説得する意見を出したりしている。 (思考・判断・実践)【観察】</p> <p>◎話合いの進め方や約束を理解している。 (知識・理解)【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート記録に大きな声で発表できるよう助言しておく。</li> <li>・よかった点や課題について自己評価するとともに、友達のよかった点などについても振り返るよう助言する。</li> <li>・発言回数だけでなく、発言内容でも評価できるよう助言する。</li> <li>・集団決定できたことへの称賛、前回からの成長点についての称賛、今後の課題、計画委員へのねぎらい、今後の見通しや実践に向けての意欲付けなどについて簡潔に述べる。</li> <li>・時間があれば、数人に振り返りの発表を述べる場を設ける。</li> </ul>
--	--

## 6 事後の活動

日時	児童の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導上の留意点</li> <li>◎目指すべき児童の姿(観点)【評価方法】</li> </ul>
1 1月9日(水) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まったことを学級会コーナーに掲示する。</li> <li>・係の役割分担をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録をもとに、学級会で決まったことの要点をまとめるよう計画委員に助言する。</li> <li>・必ず一人一役となるように役割分担するよう助言する。</li> </ul>
1 1月10日(木) ～17日(木) 休み時間 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係の準備をする。</li> <li>・各係のリーダー同士で準備の進捗具合を確認し合う。</li> <li>・係ごとに経過報告をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係ごとに計画表を作り、協力しながら活動できるようにするとともに、活動の状況を途中で報告し合いながら意欲の継続を図る。</li> </ul>
1 1月18日(金) 第5校時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「クラスのオリンピック」</li> <li>・集会終了後、感想を記入する。</li> </ul>	<p>◎決定したことをもとにみんなで協力し、進んで準備やオリンピックに取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度)【観察】</p> <p>◎オリンピックの目的を考え、めあてを意識しながら友達と協力して実践している。 (思考・判断・実践)【観察】</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デコレーション係に掲示用の写真とコメントを入れた掲示物を作成するよう助言する。</li> </ul>